

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
専攻ダンススキル9											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	SHIGE			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
DREAMS COME TRUE（パフォーマンス集団AKS）、安室奈美恵、BoA、Crystal Kay、平井賢、AAA、黒木メイサなど、バックダンサーとして数多くのステージに出演。近年ではコレオグラファーとしても頭角を現し、DREAMS COME TRUE、BOA、東方神起、SMAP、SPEED、w-inds. など、数多くのアーティストに振付を提供。またパフォーマー集団SHOWGUNの一員としてZEEBRA、AK-69などJAPANESE HIPHOPのキーマンのライブにも出演。パフォーマー、コレオグラファーとしても活躍する、唯一無二の存在である。											
授業概要											
コレオグラファーとして様々な要求に対応できる振付のバリエーションを学ぶとともに、ミュージックビデオ、コンサートなどダンスの目的を理解したうえで制作をする為の知識を実践演習を中心に学んでいきます。											
到達目標											
この科目では振付師になる為に必要な知識、技術を学び、卒業公演では振付から構成、照明プランの作成まで作品（ナンバー）を制作できるようになる事を目標とします。											
授業方法											
コレオグラフ技術指導、課題発表、修正ディスカッションのローテーションで作品作りの実習を行います。また様々なジャンルの振付けに対応できるダンス技術を実技形式で学びます。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	導入レッスン/振付師の職業を理解する										
第2回	振付課題実技指導①/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる										
第3回	振付課題に繋げるパート制作①/前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる										
第4回	課題発表・講評①-1/ヒップホップの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスをを行う										
第5回	課題発表・講評①-2/ジャズの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスをを行う										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
専攻ダンススキル9	
第6回	振付課題実技指導②/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる
第7回	振付課題に繋げるパート制作③/前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる
第8回	課題発表・講評②-1/ヒップホップおよびハウスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う
第9回	課題発表・講評②-2/ジャズおよびヒールダンスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う
第10回	振付課題実技指導③/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる
第11回	振付課題に繋げるパート制作③/前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる
第12回	課題発表・講評③-1/女性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う
第13回	課題発表・講評③-2/男性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う
第14回	振付課題曲提出・振付制作/自分自身で振付をしたい楽曲を選び既定の時間内に収まる振付を制作する
第15回	課題発表・講評/課題の発表及び講師から修正ポイントのアドバイス・全員で各学生が制作した振りを覚え実践する